



Press Release

2011年11月9日

株式会社エイチアイ

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル

エイチアイとDMP、デジタルカメラ向けUIデモを共同開発 11月16日から開催の「Embedded Technology 2011」で展示します！

株式会社エイチアイ(本社:東京都目黒区、JASDAQ:証券コード3846、代表取締役社長:川端一生、以下、エイチアイ)と株式会社デジタルメディアプロフェッショナル(本社:東京都武蔵野市、東証マザーズ:証券コード3652、代表取締役社長兼C.E.O.山本達夫、以下、DMP)は、DMPのベクターグラフィックスIPコア「SMAPH®-F(スマフ F)」と、エイチアイのユーザーインターフェース(UI)開発ソリューション「マスコットカプセル UIフレームワーク(MascotCapsule® UI Framework、以下、UIフレームワーク)」を利用したデジタルカメラ向けのUIデモを共同で開発いたしました。

なお、本UIデモは、2011年11月16日からパシフィコ横浜で開催される「Embedded Technology 2011 (組込み総合技術展)」のDMPブースにて展示を行います。

DMPのSMAPH-Fは、ベクターグラフィックス業界標準APIのOpenVG™1.1に準拠しており、高性能なUIアプリケーションを低消費電力かつ低コストで実現することができるIPコアです。

エイチアイのUIフレームワークは、プログラムの知識がないデザイナーでも簡単にグラフィカルなUIデザインを行うことができる専用のオーサリングツールを装備し、OSやデバイスの性能を問わず、組込み機器上で高速描画かつ表現力豊かなUIの開発を容易にするソリューションです。フォトショップ(Adobe® Photoshop®)のデータをそのまま利用できるほか、エイチアイのフォント描画エンジン「ハイグリフ(Higlyph®)」を組み合わせることでエフェクトを多用したフォント描画も簡単に実現可能です。

今回開発したデジタルカメラ向けのUIデモは、SMAPH-Fの高い描画性能により、美しく高速な2Dグラフィック描画を実現しています。さらに、UIフレームワークの利用により、デザイン性が高く操作しやすいUIを短期間で開発することができました。

洗練されたデザインのUIデモになっておりますので、11月16日からパシフィコ横浜で開催される「Embedded Technology 2011」にて、ぜひ直接ご覧ください。

〔展示UIデモイメージ〕



両社は今後も、相互の技術を組み合わせることで GUI の可能性を広げ、デジタルカメラをはじめとする家電分野における UI の発展に貢献するべく、協力してまいります。

【Embedded Technology 2011 概要】

会 期:2011年11月16日(水)～18日(金)

開催時間:10:00～17:00

※17日(木)は18:00まで

会 場:パシフィコ横浜(横浜市西区みなとみらい1-1-1)

ホームページ:<http://www.jasa.or.jp/et/ET2011>

DMP 出展位置:ブース番号「B-01」

【DMPについて】

2002年7月の会社設立以来、DMP(東証マザーズ:証券コード 3652)は日本発のリーディング・テクノロジー・カンパニーとして、主に組込み市場向けに最適な3Dグラフィックス技術の開発を続けています。幅広い組込み製品をカバーするハード、ソフトを含む 3D グラフィックス・ソリューションにより、新しいユーザー体験を提供する事を目指しています。また Khronos グループのメンバーとして OpenGL ES の仕様策定に主導的役割を果たすほか、日本で唯一の OpenGL ES プログラミング・トレーニングを実施しています。

DMPに関する情報は <http://www.dmprof.com/>で入手できます。

* MascotCapsule は、エイチアイの日本における登録商標です。

* DMP、DMP ロゴ、および SMAPH は株式会社デジタルメディアプロフェッショナルの登録商標です。

* その他の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。